



第2回 専門部会議開催

5月22日（水）、県営陸上競技場の会議室において今年度2回目の専門部会議が行われました。各専門部からの伝達や競技審判等の連絡についてお知らせします。

各専門部からの伝達

綱引

- ・練習・競技時間はともに1分。
- ・ロープについて。小・中はジュニア用。440kg以下の部は大人と同じロープを使う。
- ・8人の体重の合計が440kg以下、600kgの制限を各学校で守ってほしい。

フライングディスク

- ・ディスクリート・ファイブ、ディスタンスの申込書には、「全国障害者スポーツ大会に出場を希望するか、しないか」についても記載する。なお、希望しても必ず選手に選考されるとは限らない。（主たる障害が精神障害の場合、全国障害者スポーツ大会には出場できない。）
- ・欠席者について、9月17日（火）までに欠席が分かる場合は専門委員長へ連絡する。9月18日（火）から当日の欠席は、本部前に設置してある欠席届に記入して監督会議前に本部に届け出る。欠席届は、アキュラシー種目、ディスタンス種目、それぞれの洋式に記入する。
- ・申込書【様式1-③アキュ・ディス】の6つ目の項目に関して、精神障害の後に「内部障害」を追記する。



バスケットボール

- ・反対側のコートを使う学校からモップ担当をお願いしたい。
- ・今年はBコートを使う。綱引が優先して使用し、終わったら譲り合ってアップで使う。ホイッスルは禁止。応援は各校に任せる。
- ・綱引きが30分早まるとC・Dコートで第一試合を行い、A・Bコートは使われないことも予想される。



ネオホッケー

- ・チーム編成について、高等部生に加えて中学部生徒が参加できることを周知してほしい。
- ・ユニフォームは7枚以上用意してほしい。
- ・参加申込書に「報道NG」の欄を新たに設けた。記入と両腕に貼る赤テープを各校で準備するようお願いする。

サッカー

- 11:15 監督会議開始予定。綱引が早く終わるとアップも早くできる。
- プレー中でなくともハンドを取る。
- 実施要項にハンドについて明記して欲しい。
- 副審を1名出して欲しい。
- ゴールキックについて。ペナルティエリア内でも大きく出せる。まずは栗田カップでやってみて、来年度全面実施する。



グラウンド・ゴルフ

- 監督会議については救護席の横で行う。諸札を掲示する。
- ゼッケンに校名記入と、人工芝上での水分補給は水のみということは各校で確認を。
- 例年よりもスタート時間を早め、受付も早くなったため、間違いのないようお願いする。
- 申込書の備考欄には、パニック時の様子や想定されること等で、運営側に知ってほしいことを記入してほしい。
- 用具の貸し出しについて、6本セットで貸し出しをしている。2本だけ貸して欲しいといった場合でも6本を受け取り、管理・返却して欲しい。



ポッチャ

- 競技区分を変更したので確認してほしい。
- 車いすクラス個人戦は3番・4番ボックスを使用する。
- チーム戦では3番・4番ボックスの選手がジャックボールを投げる。
- 一人の選手に一人のアシスタントを原則とするが、引率の都合で難しい場合が想定される。同コートでの行き来、他コートへの出入り等、相談に応じる。
- ファイナルショット前はどちらが先に投げるかをコイントスで決める

ピン倒しボール

- 順位の発表、表彰することにした。
- アリーナ 10:50、エリア 9:40 監督会議開始。
- 知的障害の選手もスロープ使用可にする。セカンドラインをこえないようにすること。
- 車椅子で投げる選手が8mライン、または前輪がラインを越えないよう、要項に追加する。



その他の伝達

競技審判・競技補助員・一般ボラについて

- 学校所属の先生には一次案内を提出済み。今のところ全員参加の予定である。
- 競技団体のところに秋田県ポッチャ協会が入る。
- 秋田商業高校のボランティアは少なくなった。減った人数で運営マニュアルをお願いします。
- ピン倒し（エリア）は一般ボランティア8人である。



連絡事項

緊急時の受入対応依頼をする病院

秋田大学病院、秋田赤十字病院、中通総合病院、秋田県立医療療育センター

→ 上記4ヶ所の病院ですすめている。大会側としてのお願いに出向く予定。

大会救護待機場所と給水ジャグ設置場所

救護待機場所は各会場に設ける。設置箇所用の給水ジャグは、審判、補助員、専門部用

各会場の特体連事務局担当業務

- ① 審判、補助員、一般ボラへの弁当配布・回収
- ② 競技結果のスコア表記…トーナメント表へ
- ③ 救急時の大会本部への連絡
- ④ 会場関係者、応援関係者からの問い合わせ等対応
- ⑤ その他、突発時の対応など